

令和7年度使用

中学校用教科用図書研究資料

社会（歴史的分野）

北部採択地区協議会

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点Ⅰ〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章・節の構成は課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構成されており、学習の流れを可視化し、課題を解決する力を育てることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開き1単位時間ごとに学習課題が設定され、歴史的な見方・考え方の手がかりになるコーナーなどを基に追究し、最後に「チェック&トライ」のコーナーに取り組むことで1時間の学習を振り返る構成・配列の工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章・節の構成は、とびら・導入ページ、本文・特設ページ、学習のまとめと表現ページとなっており、「問い」を軸にして課題解決的に追究していくような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開き1単位時間ごとに学習課題が設定され、資料をきっかけとした深い学びのための「THINK!」のコーナーなどを基に追究し最後に「確認!」「表現!」のコーナーに取り組むことで学習内容を深める構成・配列の工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章・節の構成は、単元の見通しページ、毎時の学びページ、単元(章)の振り返りページとなっており、学習の見通しと振り返りがしやすいような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開き1単位時間ごとに学習課題が設定され、資料活用アイコン等を基に追究し、最後に「確認しよう」「説明しよう」のコーナーに取り組むことで、知識の確実な定着や表現力等の育成を促す構成・配列の工夫が見られる。</p>
81 山 川	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章の構成は、とびら「日本史と世界史の帯年表」のページ、本文ページ、まとめのページとなっており、世界史を含めた歴史全体の流れをつかむことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開き1単位時間ごとに学習課題が設定され、因果関係を重視した本文の記述や豊富な発問を基に追究し、最後に「ステップアップ」のコーナーに取り組むことで深い学びを促す構成・配列の工夫が見られる。</p>

116 日 文	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章・節の構成は、学習のはじめにページ、本文ページ・まとめと振り返りのページとなっており、生徒が問いを立て、学習の見通しと振り返りができるような工夫が見られる。(節ごとに問いの追究。)</p> <p>(2) 見開き1単位時間ごとに学習課題が設定され、手がかりとなる「見方・考え方」のコーナーなどを基に追究し、最後に「確認」「表現」のコーナーに取り組むことで学習内容の理解を確かめる構成・配列の工夫が見られる。</p>
225 自由社	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章の構成は、導入ページ、本文ページ、章末に調べ学習・復習問題・時代の特徴を考える・対話とまとめの図のページとなっており、章全体を構造的に関連付けて構成するような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開き1単元時間ごとに学習課題が設定され、キャラクターのセリフにより示唆する学習のポイントを活用して追究し、最後に「チャレンジ」のコーナーに取り組むことで簡単な知識の整理ができる構成・配列の工夫が見られる。</p>
236 令 書	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章の構成は、本文ページ・特設ページ(コラム)、章のまとめページとなっており我が国の歴史の特色を政治・文化・外交・産業の4観点で連続性をより実感できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 縦書きで構成されており、小見出しごとに学習課題が設定され本文の理解を助ける写真・図・コラムなどで追究し、最後に「まとめ」のコーナーに取り組むことで学習内容の理解を確かめる構成・配列の工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、対話を通して深い学びを実現するための活動例を、本文やまとめのページに配置し、本文での学習内容の理解を確実にし、話し合いなどの対話的な活動を促すための工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、導入の資料→学習課題→本文→チェック＆トライの流れで構造化したり、歴史の学習に必要な技能を身に付ける「みんなでチャレンジ」を設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、学習内容を「ウェビング」などの「思考ツール」を活用して整理したり、グループ学習「みんなでチャレンジ」のコーナーを設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、現代的な5つの課題における克服のための取り組みを扱い、持続可能な社会の形成や課題解決のための意識と態度を育てるための工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、第1章2節では、対話的な学びの進め方の例を具体的に掲載し、その後の学習において「対話的な学び」を自ら進んで展開できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、各時間の最後に学習を振り返る「確認」のコーナーを設けたり、適宜設けられた資料内容を読み取る「歴史の技」のコーナーを設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、学習したことを活用して表現する「表現！」や各章の最後に学習を振り返る「学習のまとめと表現」のページを設定するなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、巻末で既習内容を活かして、現代社会の課題について、SDGsの視点から問い・調査・考察・発表・交流する学習活動を紹介するなどの工夫が見られる。</p>

46 帝 国	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、各章の「章扉」や「タイムトラベル」を活用し、単元全体の学習の見通しを立てて学びを進めていくことで、主体的な学習を促すなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、見開き2ページが構造化された構成になっていたり、基礎的な技能を身に付けるための「技能をみがく」を設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、巻頭「考えを整理する方法～思考ツールを活用しよう～」で、学習で有用な思考ツールを紹介したり、それを用いる場面を多く設定したりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、最終単元では、歴史的な背景を踏まえた、社会参画への態度を養うために現代社会の諸課題について解決策を考える活動を行うなどの工夫が見られる。</p>
81 山 川	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、「歴史を考えよう」のコーナー、各章のまとめなどで、さまざまなパターンの豊富な発問を通して、生徒の主体的で対話的な学習活動を促すための工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、難しい用語と同ページに用語解説のコーナーを設けたり、因果関係を説明するために関係のあるコラムを設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、各単元の学習課題、ステップアップの課題、図版に付した発問など、各所に設けた発問を自ら考え、判断する力を身に付けられるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、各時代の展開や、文化財保護の取り組みを理解する「地域からのアプローチ」が設けられており、歴史を学ぶことの意味を考えさせるなどの工夫が見られる。</p>

116 日 文	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、教科書の「編（章）の問い」や「節の問い」に対する予想や学習後の考えを記録するワークシートを設け、学びの成果や自己の成長を振り返り、学習内容を深める工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、1授業時間を見開き2ページとし、「何を学ぶのか」を学習課題で明確に示し、「確認・表現」コーナーで、学習を確かめるための問いを設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、各章末に「まとめとふり返し」を設け、時代の特色をまとめさせたり、考察する際に活用できる思考ツールを随所に設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、よりよい未来を考えるにあたって、先人がどのように課題を解決しようとして取り組んできたのかを学ぶコラムや特設ページを設けるなどの工夫が見られる。</p>
225 自由社	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、特設ページ「もっと知りたい」を置き、生徒が興味のある歴史的事象を自らさらに深く学び考えられるような素材を随所に配置するなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、簡単な知識の整理をするために単元ごとに「チャレンジ」というコーナーを置き、章末に復習問題のページを配置して基礎的な用語や知識の定着を図るなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、各章の章末において、生徒の探究をうながす課題学習のページや時代の特徴を考えさせるページを設定するなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、「歴史用語ミニ辞典」を生徒がつくるという課題など、学んだことを自分で構造化するレッスンの場を設けるなどの工夫が見られる。</p>

- (1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、グループでの調べ学習の手順や方法、ディベートの行い方などまとめ学習における対話が広がるような学習方法の紹介をするなどの工夫が見られる。
- (2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、巻末に解説付きの大きな写真資料を豊富に配置したり、時代ごとの各国の変遷を理解させる世界地図や年表を掲載したりするなどの工夫が見られる。
- (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、各時代の章末において、まとめを行うコーナーを設け、その中で政治・文化・外交・産業の4つの観点でまとめさせるなどの工夫が見られる。
- (4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、我が国の光と影の両面を学ぶことで、現代と違うもの、変わらぬものを比較する力を養うなどの工夫が見られる。

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、各ページの定位置にある二次元コードから学習段階に応じ、「ワークシート」や「活動ツール」などのデジタルコンテンツを活用することができ、生徒の学びを深める工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、各ページ下の「チェック&トライ」で1時間の学習をふり返った後、数ページ先の「探究のステップ」のページを示すなどして、各章や節のまとめと、そのまとめを基にした探究課題の解決が効率的に行える工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、各章の導入や振り返り、「歴史の技」にある「まなびリンク」から、学習場面に応じた、動画やクイズ、リンクを見ることができ、生徒の関心・意欲を高め、理解や習得を促す工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、見開き最後の「確認！表現！」で1時間の学びを振り返り、さらに、各章の学習を振り返る「学習のまとめと表現」では、3段階の構成で、基礎・基本の定着とともに、次の章への準備を効率的に行える工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、各章・節の始まりや振り返りにある二次元コードから、学習内容の定着や生徒の調べ学習を支える多彩なコンテンツを活用して、生徒の個別最適な学びを支援する工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、見開き最後の「確認しよう・説明しよう」で1時間の学びの振り返りができる。さらに、各章末尾の「学習を振り返ろう」で各章・節の問いについて考えさせ、各時代の特色の考察が効率的に行える工夫が見られる。</p>
81 山 川	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、二次元コードから、拡大した掲載資料や動画を見ることで、各ページに設けられた発問に対する思考のヒントを与え、理解をより深められる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、見開き最後の「ステップアップ」で、1時間の学習内容を踏まえた発展的な学びにつなげている。章末の「まとめ」では、様々なパターンの発問を通して、生徒の主体的・対話的な活動を促す工夫が見られる。</p>

116 日 文	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、各ページの定位置にある二次元コードから、多彩なコンテンツを見ることができ、中でも、「ポートフォリオ」は系統的に配置し、生徒の個別最適な学びに繋がる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、見開き最後の「確認・表現」で、1時間の学習をふり返ることができる。さらに、編末の「まとめとふり返り」では、習得した知識の確認のあと、各編・節の問いに答えることで、時代の特色を考えさせる工夫が見られる。</p>
225 自由社	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、見開きのページの概略的な記述内容を、さらに深める特設のページ「もっと知りたい」を配置し、生徒の興味・関心を高めることで、深い学びにつなげる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、見開き最後の「チャレンジ」で、1時間の知識の整理ができる。さらに、章末に「調べ学習⇒復習問題⇒時代の特徴を考える⇒対話とまとめ図」のページを設け、段階を追って時代を大観させる工夫が見られる。</p>
236 令 書	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、本文を縦書きにするとともに歴史の転換点を独自に設定したり、扉絵をイラストで表したりするなど、読書するような楽しみを見出しながら、興味・関心を高める工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、本文の時代の転換時には「先土器時代以前」や「平成時代～現在」という見出しを設け、政治、文化、外交、産業別の学習課題を示し、まとめの学習につながる工夫が見られる。</p>

4 地域課題への対応

〔観点4〕 これまでの学びや経験を生かすとともに、自分の住んでいる地域と関連付けて考えられるような工夫が見られたり、本地域の実態に配慮した工夫が見られたりしているか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 本地区における地域の特色や生徒の実態を考慮すると、「もっと知りたい！」の特設ページを設け、関連する時代の地域ごとの現代とのつながりを含めた歴史的な視点を広げさせることで、歴史と現代の生活を関連づけさせながら考えることができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒が身近な地域の歴史を学ぶことができるように、「地域の歴史を調べよう」の特設ページを設け、地域の歴史を主体的に学ぶ際の学び方を習得できるような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 本地区における地域の特色や生徒の実態を考慮すると、興味がわくような各ページのタイトルをつけたり、小学校で学んだ歴史人物を想起させるマークをつけたりすることで、歴史を身近に感じることができるようにする工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒が身近な地域の歴史を学ぶことができるように、「身近な地域を調べよう」の特設ページを設け、地域の歴史を具体的かつ視覚的に学ぶことができるような工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 本地区における地域の特色や生徒の実態を考慮すると、時代の特色をつかむための「タイムトラベル」やこれからの社会をつくる視点から歴史をとらえる「未来に向けて」を設けることで、歴史を身近に感じることができるようにする工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒が身近な地域の歴史を学ぶことができるように、「歴史を探ろう」の特設ページや、「地域史」のコラム欄を設けるなどして、歴史を具体的に学べるような工夫が見られる。</p>
81 山 川	<p>(1) 本地区における地域の特色や生徒の実態を考慮すると、各時代の世界の様子を地図やイラストで示す「○世紀の世界」を設け、資料を読み取るための問いをつけ、歴史を身近に感じることができるようにする工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒が身近な地域の歴史を学習するために「地域からのアプローチ」の特設ページを設け、地域の歴史を多角的に学ぶことができるような工夫が見られる。</p>

116 日 文	<p>(1) 本地区における地域の特色や生徒の実態を考慮すると、現代と歴史とを関連づけて考える「先人に学ぶ」や、歴史の学習をはば広く豊かにするための「歴史+α」を設けることで、歴史を身近に感じることができるようになる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒が身近な地域の歴史を学ぶことができるように、「地域に学ぶ」の特設ページを設け、身近な地域から歴史を学ぶことができる事例を紹介する工夫が見られる。</p>
225 自由社	<p>(1) 本地区における地域の特色や生徒の実態を考慮すると、各時代の人物に焦点をあてた「人物クローズアップ」や現代でも使われる歴史の中で生まれた「歴史の言葉」を紹介することで、歴史を身近に感じることができるようになる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒が身近な地域の歴史を学習できるように「調べ学習のページ」の特設ページを設け、地域の歴史の建物や名字、住まいや食生活などについて考えることができる工夫が見られる。</p>
236 令 書	<p>(1) 本地区における地域の特色や生徒の実態を考慮すると、多角的な視点から歴史の中の出来事を紹介するコラムを設けることで、歴史を身近に感じることができるようになる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒が身近な地域の歴史を学ぶことができるように、「身近な歴史を年表にまとめよう」「市町村歌を調べてみよう」など特設ページを設け、その方法を詳しく説明し、例を挙げてまとめ方を習得できるような工夫が見られる。</p>